

上京の徳臣会 長につめ寄る

水俣病告発する会代表ら

県公害被害者認定審査会の徳臣晴比古会長（熊大医学部教授）と県公害課の井輝雄課長らは、さきに環境庁が示した水俣病をめぐる裁決の説明書原案について疑義を正すため、二十七日午後九時四十分熊本駅発の上り特急「明星1号」で上京したが、これを知った熊本水俣病を告発する会、水俣病市民会議などの代表約百人は同駅改札口で徳臣会長らを取り囲み、「なんのために上京するのか」とつめ寄った。徳臣会長らはだんまり作戦。しかしきびしい追及に同会長が「患者のために行きます」と発言したため、出発五分前にやっと列車に乗り込んだ。